

科目ナンバリング		U-LAS05 20052 LJ74							
授業科目名 <英訳>		都市空間論各論Ⅰ Topics in Theory of Urban Space and Architecture I				担当者所属 職名・氏名		人間・環境学研究所 教授 中嶋 節子	
群	人文・社会科学科目群		分野(分類)	地域・文化(各論)			使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2026・後期		曜時限	水1		配当学年	全回生	対象学生	全学向
【授業の概要・目的】									
都市や集落を構成する重要な要素のひとつが住宅である。わが国の歴史を振り返ったとき、住宅がドラスティックに変化したのは近代であった。近代における住宅の変容と展開は、現在のわれわれの住環境へとつながっている。この授業では、近代における住宅の形態(間取り・意匠・構造・材料)と機能、意味の変容と展開を、背景にある社会、文化、技術との関わりから解説する。また、住宅をとりまく居住空間の性格を、そこで繰り広げられた生活行為および都市・郊外といった場所との関係に注意しつつ講述する。									
【到達目標】									
我が国における住宅と住まい方の変遷を理解するとともに、今後の住宅のあり様を考察できる力を養う。									
【授業計画と内容】									
以下の内容について講義する。講義順については前後する場合もある。写真や図面、地図などを用いることで、視覚的、立体的な居住空間の理解を目指す。以下の内容について講義するが、順序は前後することもある。									
<ol style="list-style-type: none"> 1 前史：近世の都市住宅と「都市居住システム」 - 京都・大阪・江戸の居住空間 2 住宅の近代・生活の近代はどこから始まったのか - 居留地の建築と生活 3・4 上流階級住宅にみる伝統の継承と西洋化 - 洋館と和館・日常生活と儀礼の空間 5・6 都市住宅の近代的変容 - 町家・武家住宅の変容 7・8 庶民住宅の新たな試み - 在来住宅の批判と和洋折衷住宅の提案 9 近代数寄者と大規模和館 10・11 住宅博覧会と住宅改良運動 - 生活の近代化の啓蒙と文化村の登場 12 郊外住宅地と住宅 - 田園都市運動と都市からの脱出 13 集合住宅と都市政策 - 同潤会アパートメント・不良住宅地区改良事業 14 多様な住宅づくりの試み - 輸入住宅、建築家の提案 15 フィードバック 									
【履修要件】									
住宅や生活の歴史に興味があることが条件。									
【成績評価の方法・観点】									
授業中に課す小レポート(20%)と、中間レポート(40%)、期末のレポート(40%)によって評価する。その際、出席状況も考慮する。									
----- 都市空間論各論Ⅰ(2)へ続く -----									

都市空間論各論Ⅰ(2)

[教科書]

内田青蔵・大川三雄・藤谷陽悦 『新版 図説・近代日本住宅史』(鹿島出版会)

[参考書等]

(参考書)

授業中に紹介する

[授業外学修(予習・復習)等]

授業前に教科書を読むとともに、授業後には関連図書に目を通していただきたい。
また、授業中に紹介する住宅を最低5か所以上、実際に訪れていただきたい。

[その他(オフィスアワー等)]

生活の容れ物である住宅は、生活によってその形態が決定されると同時に、生活そのものを規定する性格を有していることを、歴史を通して理解していただきたい。

[主要授業科目(学部・学科名)]

総合人間学部